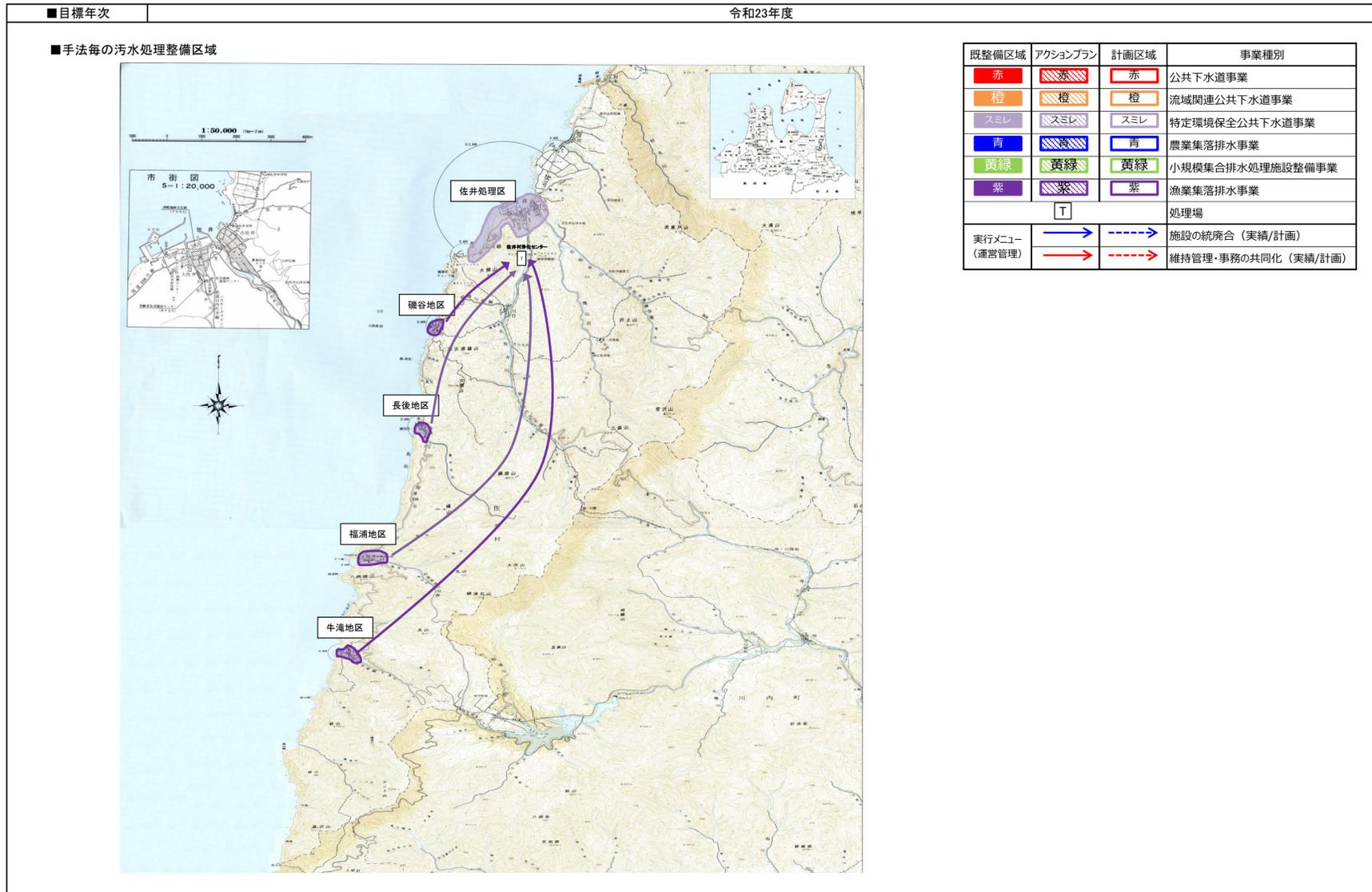


汚水処理整備区域図 目標年次



■整備計画

①課題の整理

課題1	牛滝・福浦・長後・磯谷地区漁業集落排水処理施設の処理場が老朽化してきている。また、人口減少による汚水量の減少に伴い佐井処理区の処理能力に余裕が出ている。
課題2	佐井処理区の処理場及びポンプ場の機械機器が老朽化しており、高額な更新費用が見込まれている。
課題3	
課題4	

②スケジュール

計画区分	事業	事業内容	12	17	22	27
			令和8年	令和13年	令和18年	令和23年
実行メニュー (運営管理)	下水道	漁業集落排水処理施設及び村内浄化槽の汚泥を佐井処理区へ搬送(MICS事業)				
	共通	施設機械機器の定期更新及び老朽化対策				

③目標、概算事業費等

整備手法	R13	R23	全体	公共下水道	集落排水施設・コミブラ	浄化槽		備考
						個人設置型	市町村設置型	
整備手法	R13	整備人口(人)	1,176	826	267	83	0	
		整備面積(集合処理分)(ha)	60	36	24			
		日最大汚水量(m ³ /日)	118.3	59.7	58.6			
		計画汚泥量(t-DS/日)	0.9	0.1	0.8			※公共下水道:脱水ケーキ 集落排水:濃縮汚泥
	R23	整備人口(人)	856	592	192	72	0	
		整備面積(集合処理分)(ha)	60	36	24			
		日最大汚水量(m ³ /日)	84.8	42.8	42.0			
		計画汚泥量(t-DS/日)	0.7	0.1	0.6			※公共下水道:脱水ケーキ 集落排水:濃縮汚泥
ベンチマーク【指標】	経費回収率(%)		-	100.0	100.0			
	下水道処理人口一人あたりの汚水処理費(千円/年)		148.00	71.50	76.50			
概算事業費	総建設事業費(百万円)		4,259	2,689	1,570		0	
	年間維持管理費(百万円/年)		27	17	10		0	
実施メニュー	漁業集落排水処理施設及び村内浄化槽の汚泥を佐井処理区へ搬送(MICS事業)		○					人口予測を勘案すると、現在稼働中の特環公共下水道処理場の処理能力に余裕が出るため、令和23年までに漁業集落排水施設での濃縮汚泥をMICS事業を用いて佐井処理区での一括処理ができるよう検討・実施していく。
	施設機械機器の定期更新及び老朽化対策		○					佐井地区下水道処理場は平成19年より稼働しており、機械機器の老朽化が予測されることから、各施設における更新計画をR3年度より順次行っていく。また、漁業集落排水施設についても同様に行っていく。
	-		-					
	その他()		-					